

アーティストサポートファンドで支援した、 最新のアウトリーチ活動の様子をご報告します。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行したこともあり、今年度は大学の授業やホール等での演奏活動に関してほぼ以前の状況に戻っています。ただ、「生」の音・音楽を通常のコンサートよりは近い距離で共有する「音楽アウトリーチ」の活動は、まだ完全に元に戻ったとは言い難い状況です。それでも、藝大で開講している「音楽アウトリーチ」の授業は、大勢の学生が集まり、例年以上に活況を呈しております。単位が必要な正式履修学生だけで60名を超え、単位を必要としない受講希望者を含めると100名を超える学生が登録しております。コロナ禍で学生一人一人が自分と音楽との向き合い方や“音楽する”意味などについてこれまで以上に深く考えている表れかもしれません。



【写真①】 長野県高遠高校での演奏風景

毎週水曜日に開催している本授業では、毎年社会で活躍するアーティストたちをゲスト講師として招聘しています。毎年来ていただいている音楽プロデューサーの坂田康太郎氏をはじめ、今年度前期は著作権に詳しい弁護士や整体の専門家などにも講師をお願いし、多様な視点から藝大生のキャリア支援を行っています。とりわけ身体のケアに関する問題は学生たちにとって重大な関心事であり、演奏と身体の関係性は今後も継続的なテーマとしてさまざまな領域の専門家からレクチャーを受けたいと考えています。



【写真②】 備前焼のギャラリーでの演奏風景

コンサートやワークショップなどに関しては、幼稚園や学校などの教育機関をはじめ、高齢者施設や介護施設、博物館などの文化施設でアウトリーチ活動を開催とともに、藝大キャンパス内からの発信も重要と位置づけ、藝大アートプラザでのコンサートも実施しています。写真①は、長野県高遠高校における声楽とピアノの演奏風景、写真②は、備前焼のギャラリーで演奏する津軽三味線の山下靖喬氏、写真③は、児童デイサービスにおける弦楽器の演奏風景です。また、このような生演奏によるアウトリーチ活動に加えて、コロナ禍において蓄積した動画収録に関するノウハウを活用し、楽器指導やワークショップ・コンサートの動画を子どもたちに広く視聴してもらう活動も続けています。

佐野 靖(東京藝術大学副学長 / 音楽学部教授)



【写真③】 児童デイサービスでの演奏風景

演奏動画のご案内

2020年度、新型コロナウイルス感染症の影響でコンサートが中止になっていた時期に、なんとか演奏を届けたいという演奏者の思いを受けて、演奏動画を公開しています。



▶ 2020年度

2022年10月に開催された「10周年スペシャルコンサート」の演奏がご覧いただけます。プログラムスタート当初に出演し、世界へ大きく羽ばたいたアーティストたちの演奏を、ぜひご覧ください！



▶ 2022年度

ダイナースクラブは、これからも才能ある若手アーティストや“音楽アウトリーチ活動”を応援してまいります。
皆様もぜひ「ダイナースクラブ アーティストサポートファンド」やイベント参加を通じてご支援ください！